

YBHD NEWS No.40

# 株主通信

平成26年11月



つなく、むすぶ、広げる、未来へ

*The Next Perspective*



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



代表取締役社長

岩井 久司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、株主通信「YBHD NEWS」第40号をお届けし、第151期上半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業の概況につきましては、別記のとおりご報告申し上げます。

我が国経済につきましては、消費税増税で一時的に冷え込み、また悪天候によって停滞していましたが、円安が経済全体として景気にプラスに作用することで、今後の景気回復が期待されています。

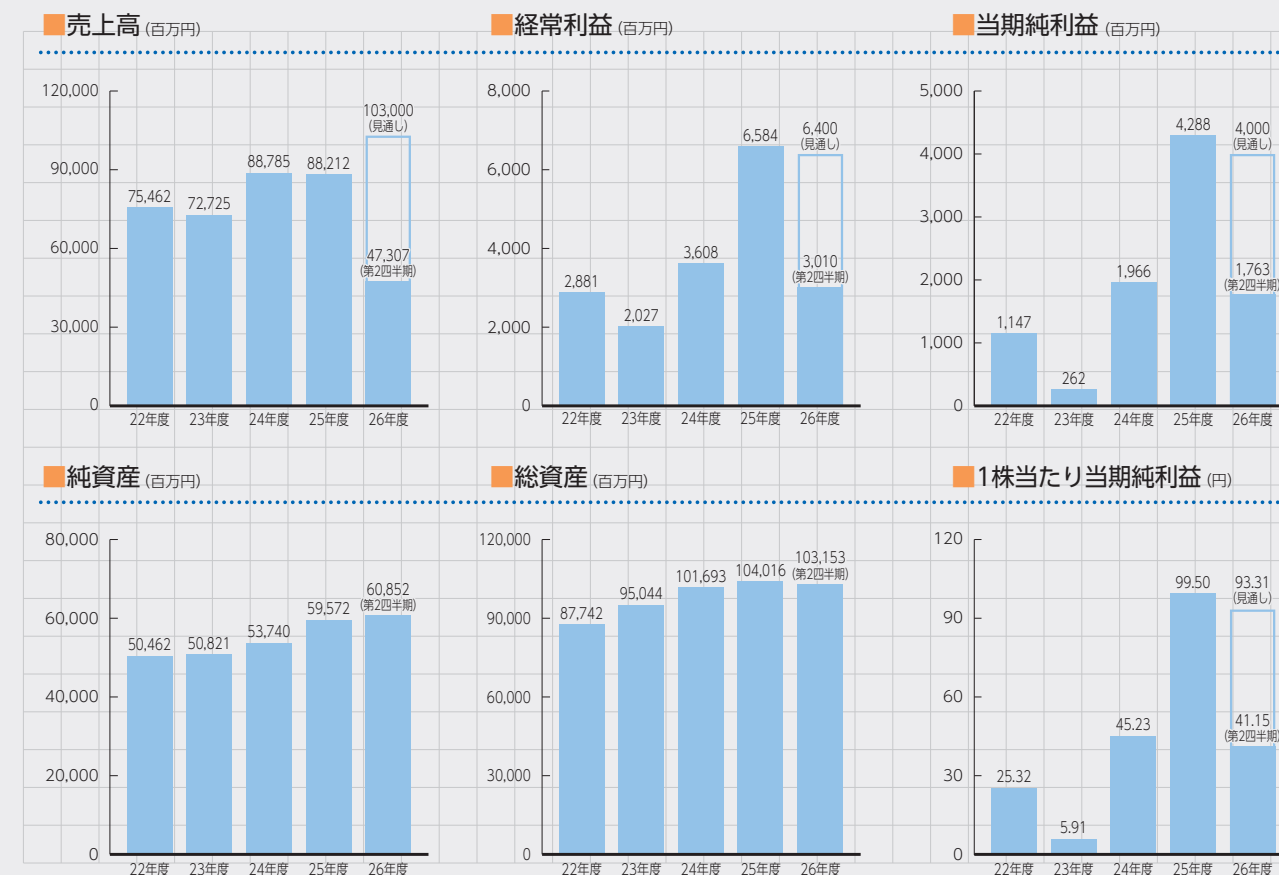
建設投資につきましては、バブル崩壊後の急激な減少や受注競争の激化の後、東日本大震災の復興、東京オリンピックの開催決定などにより需要が回復しているところですが、技能者不足の状況が続いております。将来にわたって公共工事の品質が確保されるよう「担い手の確保」を目的とした公共工事品質確保促進法、建設業法、入札契約適正化法の法改正の基本方針と指針が決まり、受注者が適正な利潤を得られる市場環境となることを切望しております。

当社は、株主の皆様に対する利益配分を最重要施策の一つと認識し、業績・配当性向などを総合的に勘案のうえ安定した配当をすることを基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただき、10月28日開催の取締役会で決議いたしました。期末配当を合わせた年間配当金は、12円とさせていただき予定しております。

当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (第2四半期)
売上高	(百万円)	75,462	72,725	88,785	88,212	47,307
経常利益	(百万円)	2,881	2,027	3,608	6,584	3,010
当期純利益	(百万円)	1,147	262	1,966	4,288	1,763



当社グループの第2四半期の業績につきましては、  
受注高は403億5千万円  
(前年同期454億3千万円)  
売上高は473億円  
(同410億円)  
四半期純利益17億6千万円  
(同17億7千万円)  
となりました。  
各事業別の状況は  
次のとおりです。

### 1 橋梁事業

受注高は233億8千万円(前年同期比66億7千万円減)、となりました。国内新設橋梁の上期発注量は第2四半期(7月～9月)で伸び悩みましたため、前年同期を下回りましたが、国土交通省発注の大型工事を前年同期以上に受注することができました。

売上高は、豊富な手持ち工事の進捗により前年同期を上回り314億7千万円(同44億2千万円増)となりました。

営業利益は、20億6千万円(同2億7千万円減)と、大型保全工事等で想定以上の損益改善ができましたものの、当初の見込みより人件費、修繕費などの固定費の増加などで前年同期を下回ることになりました。

### 2 エンジニアリング関連事業

受注高はシステム建築事業について前期の「消費税駆け込み需要」の反動から前年同期を若干下回りましたが、土木事業と建築機鉄事業がともに前年同期以上となりましたため、154億2千万円(前年同期比12億8千万円増)と伸長しました。

売上高は好調なシステム建築事業を中心に前年同期を上回り142億9千万円(同20億円増)となりました。

営業利益は固定費の増加などで利益率は低下したものの10億円(同2千万円減)となりました。

### 3 先端技術事業

受注高は液晶パネル製造装置関連が好調に推移し、15億4千万円(前年同期比3億円増)、売上高は11億5千万円(同9千万円減)となりました。営業利益は1億3千万円(同4千万円減)となりました。

### 4 不動産事業

不動産事業の売上高は3億8千万円(前年同期比3千万円減)となりました。

### 今後の見通し

上期業績の売上高につきましては手持ち工事の順調な進捗により計画を上回り過去最高となりました。また営業利益につきましても、設計変更増の獲得、原価の削減努力などにより、想定よりも高い水準で推移しております。

このような状況は好調な受注により第3四半期以降も続く見込まれますため、平成26年5月14日に公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想を、売上高1,030億円、営業利益63億円、経常利益64億円、当期純利益40億円と上方修正しております。

# 01 TOPICS 橋の図面を復元します！ ～橋梁保全をめざして～

平成24年12月に発生した中央自動車道の笹子トンネルの痛ましい事故は記憶に新しいと思いますが、その後放送された「NHKクローズアップ現代」で、次のように「図面が残されていない」ということが、報道されていました。

## ・なぜ軽視されたのか インフラの維持管理

一部に限られた問題ではありません。

維持管理が軽視されてきた象徴が詳細な図面が残されていないということなんです。

NHKでは、全国の都道府県と政令指定都市にアンケート調査を行いました。

その結果、87%の自治体で、詳細な図面が残されていない橋やトンネルがあることが分かりました。

出典：NHKクローズアップ現代

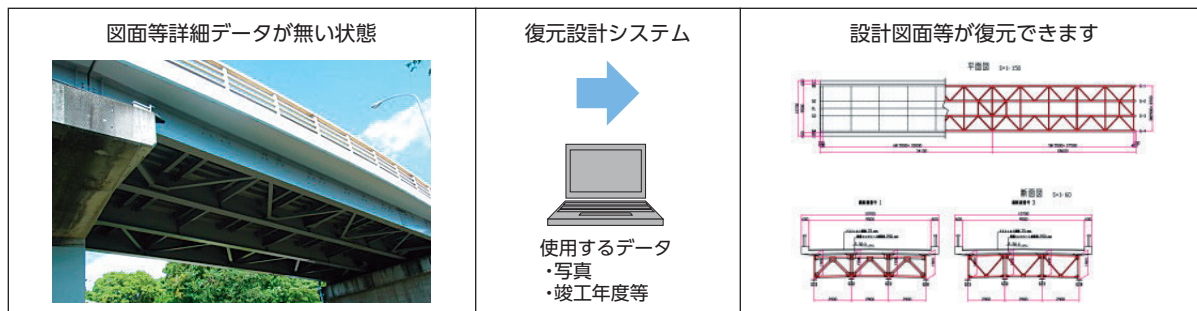
今回ご紹介いたします「復元設計システム」は、なくなった図面を早く復元できるように建設当時の基準等に則り開発した技術であります。

今後、橋梁も含めた社会インフラの維持管理の必要性が高まることは言うまでもありません。しかしながら点検するにしても図面がないとできません。そのため当社グループは「復元設計システム」を開発し特許を取得いたしました。

今後もグループを挙げて「点検・診断・設計・施工まで」の総合橋梁保全を目指してまいります。



## <復元設計システム>



# 02 TOPICS 新宿三井ビルディング制震工事

日本で初めて超大型制震装置を屋上に設置し、長周期地震動の揺れを低減

施工地：東京都新宿区西新宿2-1-1

施工主：三井不動産(株)

施工体制：鹿島建設(株)→横河工事(株)

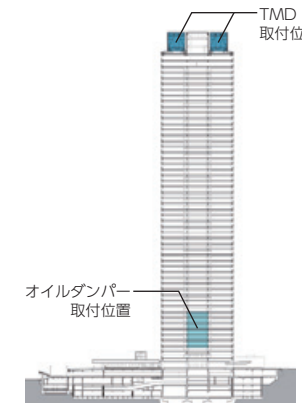
当社施工範囲：屋上にTMD×6基を設置、低層部コア内に高性能オイルダンパー (HiDAX-e) 48台を設置、鉄骨製作、現場建方、鍛冶工事

本工事は、「新宿三井ビルディング」において、長周期地震動が発生した場合の揺れを大幅に低減させるため、超大型制震装置※TMDを屋上に設置する工事と5階から10階にオイルダンパーを2面×6フロア取付る工事です。既存の鉄骨に仕口を取付、溶接し鉄骨を建方し、錘(おもり)の鉄板の塊をオイルダンパーとケーブルで接続して吊フレームから吊り下げる構造になっています。TMDは1基あたり300tの錘が8本のケーブルによる錘支持方式で高い耐久性を保ちます。

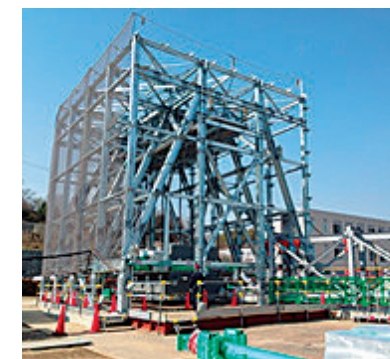
さらに、変形抑制オイルダンパーを48台設置することにより錘に過大な変異が生じてTMDが損傷することを回避します。完成すれば屋上に設置する超大型制震装置としては、日本で初めてとなります。

昼夜間工事となりますが、安全第一で作業を進めております。

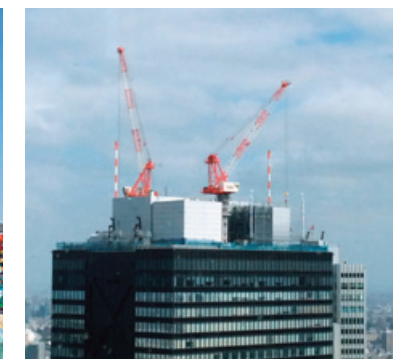
※TMD:建物に減衰器を介して錘を取付、固有振動数を最適に調整することにより震動を抑制する装置。



オイルダンパー



超大型制震装置 (TMD) (写真は性能確認実験時)



TMD取付時の様子

# 連結財務諸表

## Financial Statements

### ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 平成26年9月30日現在	前 期 末 平成26年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>66,650</b>	<b>68,372</b>
現金預金	6,614	17,514
受取手形・完成工事未収入金等	43,110	41,888
有価証券	11,910	3,514
たな卸資産	1,167	1,240
その他	3,857	4,221
貸倒引当金	△ 9	△ 7
<b>固定資産</b>	<b>36,503</b>	<b>35,643</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>18,572</b>	<b>18,391</b>
土地	9,981	10,081
その他(純額)	8,590	8,309
<b>無形固定資産</b>	<b>880</b>	<b>907</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>17,050</b>	<b>16,344</b>
投資有価証券	15,831	15,085
退職給付に係る資産	78	242
その他	1,164	1,057
貸倒引当金	△ 23	△ 39
<b>資産合計</b>	<b>103,153</b>	<b>104,016</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 平成26年9月30日現在	前 期 末 平成26年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>27,782</b>	<b>30,457</b>
支払手形・工事未払金等	18,383	17,662
短期借入金	50	50
1年内返済予定の長期借入金	—	1,008
未払法人税等	1,196	728
未成工事受入金	2,817	3,950
工事損失引当金	2,240	3,674
賞与引当金	1,717	1,793
その他の引当金	65	85
その他	1,310	1,504
<b>固定負債</b>	<b>14,519</b>	<b>13,986</b>
社債	2,500	2,500
長期借入金	3,500	3,500
役員退職慰労引当金	497	696
退職給付に係る負債	7,582	6,784
その他	439	504
<b>負債合計</b>	<b>42,301</b>	<b>44,443</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>57,745</b>	<b>56,974</b>
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,089	10,089
利益剰余金	39,929	39,156
自己株式	△ 1,708	△ 1,707
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,212</b>	<b>1,764</b>
その他有価証券評価差額金	4,313	3,826
土地再評価差額金	△ 2,372	△ 2,372
退職給付に係る調整累計額	271	310
<b>少数株主持分</b>	<b>894</b>	<b>834</b>
<b>純資産合計</b>	<b>60,852</b>	<b>59,572</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>103,153</b>	<b>104,016</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>47,307</b>	<b>41,007</b>
売上原価	40,880	34,345
<b>売上総利益</b>	<b>6,426</b>	<b>6,662</b>
販売費及び一般管理費	3,491	3,385
<b>営業利益</b>	<b>2,935</b>	<b>3,276</b>
営業外収益	228	166
営業外費用	153	192
<b>経常利益</b>	<b>3,010</b>	<b>3,250</b>
特別利益	0	96
特別損失	30	162
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,979</b>	<b>3,184</b>
法人税等	1,155	1,384
少数株主損益調整前四半期純利益	1,824	1,800
少数株主利益	60	22
<b>四半期純利益</b>	<b>1,763</b>	<b>1,778</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 656</b>	<b>3,031</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,684</b>	<b>288</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,266</b>	<b>△ 1,177</b>
<b>現金及び現金同等物に係る 換算差額</b>	<b>6</b>	<b>△ 9</b>
<b>現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)</b>	<b>△ 4,600</b>	<b>2,132</b>
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>19,886</b>	<b>15,450</b>
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>15,286</b>	<b>17,582</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式情報 (平成26年9月30日現在)

Stock Information

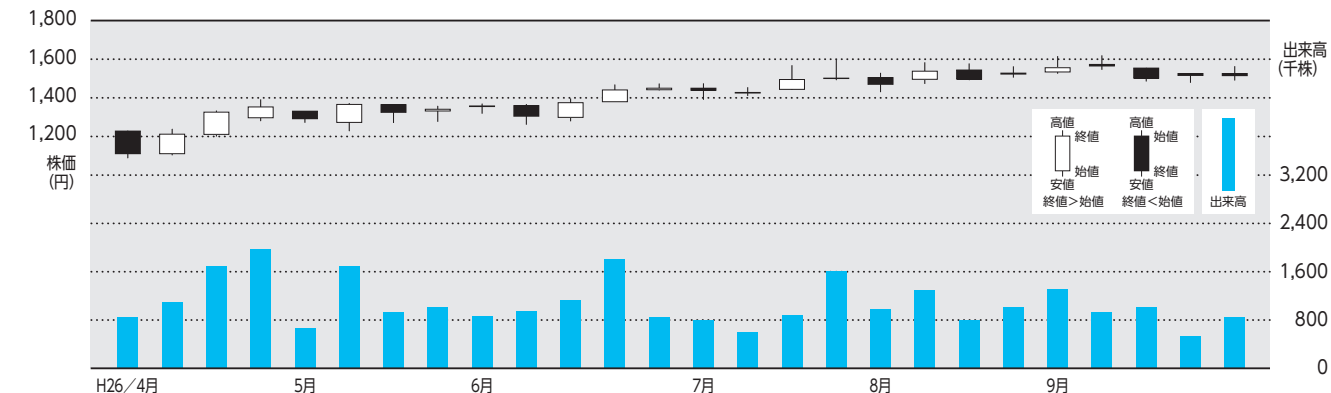
### 株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	45,564,802株
株主数	4,971名

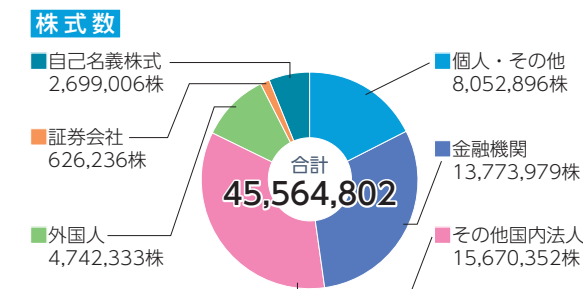
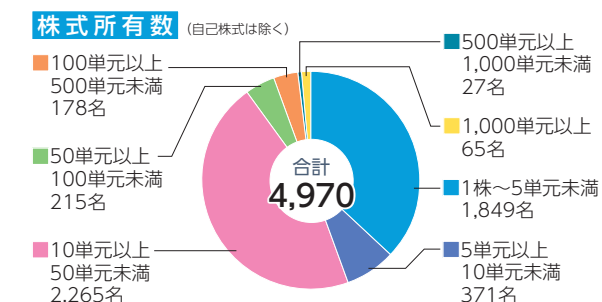
### 大株主 (上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,731,900	8.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,830,600	6.21
横河電機株式会社	2,793,691	6.13
自己株式	2,699,006	5.92
新日鐵住金株式会社	1,987,303	4.36
CBLDN RE FUND 116	942,000	2.06
株式会社みずほ銀行	890,612	1.95
住友不動産株式会社	674,000	1.47
野村信託銀行株式会社(投信口)	673,500	1.38
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	630,700	1.38

### 株価および出来高の推移



### 株式分布状況



## 会社概要

Corporate Data

### 会社概要

社名	株式会社横河ブリッジホールディングス
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL:03-3453-4111(代表)
資本金	9,435百万円
主な機能	経営戦略、法務・監査、経理・財務 総務・人事、IR・広報、技術研究開発

### YBHDグループ

- 株式会社 横河ブリッジホールディングス**  
グループ全体の経営管理
- 株式会社 横河ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・精密機器製造
- 横河工事株式会社**  
土木・建築・保全
- 株式会社 横河システム建築**  
システム建築・開閉式建築システム・環境
- 株式会社 横河住金ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・セグメント
- 株式会社 榎崎製作所**  
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品
- 株式会社 横河技術情報**  
情報処理サービス・ソフトウェア開発
- 株式会社 横河ニューライフ**  
不動産管理・情報システム・人材派遣
- 株式会社 ワイ・シー・イー**  
橋梁等構造物の総合エンジニアリング

### 役員一覧 (平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	吉田 明
代表取締役社長	藤井 久司
取締役	高木 清次
取締役	玉井 尚治
取締役	名取 暢
取締役	猪岡 修治
取締役	金子 俊一
取締役	高田 和彦
常勤監査役	北爪 恒平
常勤監査役	深沢 誠
監査役	志々目昌史 (社外監査役)
監査役	八木 和則 (社外監査役)
監査役	西山 重良 (社外監査役)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.ybhd.co.jp/">http://www.ybhd.co.jp/</a>

## 株主優待制度変更について

### 1. 実施対象株主様

年度末3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、1,000株(10単元)以上をご所有の株主様を対象に実施いたします。

### 2. 優待品

1,000株(10単元)以上を5年以上ご所有の株主様に従前の1,000円分のクオカードに加えさらに1,000円分のクオカードを贈呈いたします。

### 3. 実施基準日および送付方法

毎年3月31日を基準日として年1回実施いたします。なお、クオカードについては、6月下旬の定時株主総会決議ご通知に同封し発送する予定としております。

### 4. 実施期日

平成27年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様から株主優待制度の変更を実施いたします。

	現行	変更後
100株～1,000株未満(10単元未満)	—	優待対象外
1,000株(10単元)以上	クオカード 1,000円分	クオカード 1,000円分
1,000株以上を5年以上保有		クオカード 1,000円分加算

※表紙の写真は加賀須野橋(徳島県徳島市川内町一板野郡松茂町)  
車道橋としては日本一長い可動部を有する昇開式可動橋です。  
単純鋼床版箱桁(可動橋)橋長:45.6m